

令和8年度シラバス

文化学園大学保育専門学校

科目名				授業の種類		授業担当者	
保育原理				講義		柿  冨  千  恵  子	
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修		
1	2	30	15	前期	幼免:選択	保育士:必修	
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>保育の仕事は、未来を担う子どもたちを育てることである。保育の基礎・基本を学ぶことで、自身の「保育観」を養い、実践の場で「子どもと共に育つ保育者」を目指すために保育原理を考究する。</p>							
<p>[授業全体の内容と概要]</p> <p>保育の原理原則、保育の根幹を学び、保育者の役割と使命について理解する。 時代のニーズに対応する保育施設の必要性と時代に関わらず保育の基本となる子どもの捉え方を考究する。 諸外国の保育思想の潮流、日本の保育思想や保育施設の誕生から発展の経緯を理解する。</p>							
<p>[受講上の注意事項]</p> <p>保育原理で学ぶ内容と実践的な内容である他の科目や様々な実習経験を関連づけながら、保育について理解を深めることを意識する。</p>							
<p>[使用テキスト]</p> <p>最新 保育原理[第2版] 教育情報出版</p>				<p>[評価基準]</p> <p>試験・提出物、授業態度</p>			
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]							
回	項 目			授 業 内 容			
1	「保育」を知る			保育とは何かを保育の対象者や子どもの人権についての学びから導き出す			
2	「保育」を知る			子どもを取り巻く環境の変化について学び、保育ニーズを明らかにする			
3	「保育」を知る			保育の歴史を学ぶことで子どもの捉え方に触れ、保育観の醸成に繋げる			
4	保育の基本を学ぶ			子ども理解のために、事例を通して子どもを見る「まなざし」や発達の見極めについて学ぶ			
5	保育の基本を学ぶ			保育環境について学ぶ			
6	保育の基本を学ぶ			保育内容について学ぶ			
7	保育の基本を学ぶ			保育の方法・形態について学ぶ			
8	保育の基本を学ぶ			保育計画の必要性、指導計画の作成について			
9	保育の基本を学ぶ			保育の評価と苦情への対応について学ぶ			
10	保育の役割を理解する			家庭援助と子育て支援における保育の役割について			
11	保育の役割を理解する			家庭・小学校との連携について			
12	保育の役割を理解する			子どもの安全・虐待・障害について			
13	これからの保育を考える			保育者の専門性とその向上について			
14	これからの保育を考える			保育の現状と課題につて			
15	試験			まとめ			
実務教員としての経歴		園勤務38年、行政職4年、現場保育士の指導8年及び保育士養成課程の講師を5年間勤めている					
実務経験と授業の関連		保育現場状況を踏まえた保育士指導の実践を生かし、学生達に保育の原理原則を伝える。					